

第2号様式

会 議 議 事 録

1 会議名	第1回長岡市持続可能な行財政のあり方に関する有識者懇談会
2 開催日時	令和元年11月20日（水曜日）午後1時30分～午後3時
3 開催場所	アオーレ長岡東棟4階大会議室
4 出席者名	（有識者）鯉江座長、海津委員、高橋委員、並木委員 （冒頭あいさつのみ）磯田市長 （事務局）水澤副市長、近藤総務部長、小山総務部参事、小嶋財務部長ほか関係職員
5 欠席者名	長谷川委員
6 議題	1 開会 2 市長あいさつ 3 メンバー紹介 4 検討の視点及び検討テーマについて 5 検討スケジュールについて 6 長岡市の現状について 7 討議 8 その他 9 閉会
7 会議資料	別添のとおり
8 議事概要	別添のとおり

第1回長岡市持続可能な行財政のあり方に関する有識者懇談会

議事概要

- ・冒頭、座長から、人口が減るから何でも縮小すれば良いというものではなく、基礎自治体として必ずやらなければいけない仕事がある。市の行財政を持続するために何が必要で、どうやったらそれが実現するかという観点から議論していきたい旨の発言があった。
- ・会の開催にあたり、事務局から、検討の視点やテーマ、スケジュールの案が示された後、本市を取り巻く現状（人口の将来推計、財政、組織・人員及び市有施設の状況）の説明があった。
- ・これを受け、現時点の財政状況について、委員から決算や財政指標は健全に近いが、財政調整基金を取り崩さないと毎年の収支が保てない状況は課題であるという意見があった。
- ・また、一般的に健全な行財政というのは、収支や基金がどの程度のものなのかという質問があった。
これに対し事務局は、中山間地域を含む広域合併により、一たび大雪が降ると除排雪経費として基金を10億円も取り崩さざるを得ないこともあるなど、どの程度の基金や収支状況であれば健全であるとは一概には言えないが、今後考え方を整理して示したいとの答弁があった。
- ・さらに、今後議論を進めていくためには、市の考えや今後の方向性を具体的に示していただきたいとの意見があった。
- ・次回以降は、検討テーマごとに市の取組や目指す方向性などを提示しながら、議論を進めていくこととなった。